

## 未来チャレンジ

～ 正解のない探究の旅に出よう ～

本単元で育成する資質・能力

論理的思考力・批判的思考力・楽観的思考力

日時：10月8日（金）5校時

場所：3年生教室

学級：3年生20名

## 研究主題

主体的に学び、表現する児童生徒の育成  
～クリエイティブに思考し表現する学び合いを通して～

## 1 生徒観

生徒はこれまでの学習の中で、各教科の体験学習や課題発見・解決学習等を通して自分で課題を設定し、情報を収集して整理し、まとめたり結論を出したりする活動を行ってきた。また、特に総合的な学習の時間では、インタビューの方法や集めた情報を取捨選択して活用する経験を積み重ねてきている。

しかし一方で、令和3年度実施の全国学力・学習状況調査質問紙の結果によると、「授業では、解決しようとする課題について、「多分こうではないか」「こうすれば出来るのではないか」と予想しています」という設問に対して「よくあてはまる」と回答している生徒は20名中3名であり、「授業では、情報を比べたり、仲間分けしたり、関係を見つけたりして、何が分かるか考えています」という設問に対して「よくあてはまる」と回答している生徒は一人もいなかった。また、「授業では自分の考えを積極的に伝えていきます」という設問に対して「よくあてはまる」と回答している生徒は20名中4名であった。

以上の事から、本学級の生徒には、これまでの学習を通して、論理的に思考して解決方法を検討したり、情報を整理したりする力が、指導者のねらいほどには身に付いていない実態があると言える。また、収集した情報を批判的に吟味し、分類したり、活用したりする力も弱いこと、正解であるかどうかにかかわらず、まずは積極的に自分の意見を表現する意欲に乏しいことも課題であることが把握できた。

## 2 単元観

上記の生徒の課題解決に向けて単元構想に際しては、これまでのように活動を指導者の望む形で完結させることをねらうのではなく、生徒各人の興味関心に基づいたテーマ設定と、生徒自身の発想や思考、主体的な活動によって学習が進んでいくことを意識して設定していく。また、本校生徒の大きな課題の一つである、自分の考えを表現することに消極的であるという課題解決に向けて、単元構成を、正解・不正解が求められるような活動ではなく、楽観的に自分のアイデアや疑問を表現しやすい探究活動で構成していく。本単元の学習を通して、論理的思考力（前提から結論に至るまで、筋道を立てて考える力）、批判的思考力（目的や状況、根拠を明確にし、集めた情報を鵜呑みにせず、必要なものを選び出す判断力）、楽観的思考力（物事の先行きをよいほうに気楽に考え、可能性を信じてまずは挑戦してみようという意識）を本校生徒に育成したいと考え、本単元を設定した。

## 3 指導観

探究的な活動を支える土台として、まずは探究活動の流れを体験的に理解できるよう、スモールステップで活動を区切り、丁寧に指導していく。そのために、授業毎に各生徒の発想や活動状況を一覧表にまとめ、授業が終わるごとに学年会指導者を中心に検討会を開き、次回の授業での指導方針や重点的に指導したり支援したりする生徒を確認する。指導を通して生徒に、論理的に考えるポイントとして根拠をどのように設定するか、自分の活動や集めた情報を批判的に見直しどう活動を仕組むか、スモールステップで具体的に指導し、理解させていく。また、小規模校である事を活かし、テーマ毎に編成した縦割り班での発表会を行い、他学年の活動から学んだり、自分の考えを整理したりする異学年交流活動を行う。その活動を通して、他者に自分の考えを表現することを多く体験させ、また、活動をやりきる体験を通じて肯定的な評価から達成感を感じさせ、積極的に自分の意見を表現する意欲の育成をはかる。

#### 4 単元の目標

実社会や実生活から自らが設定した探究課題解決のために、見通しを立てたり、情報を収集して論理的に整理・分析して取捨選択したり、解決方法について自分なりの考えをもって行動したり表現したりすることを通して、探究的な学習の良さや探究の仕方を理解するとともに、今後の自分の学習や生活に学んだことを活用しながら論理的に自己調整して行動できるようにする。

#### 5 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①自分が設定した探究課題（別紙1を参照）の解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p>②探究のしかたについて理解し、その方法を身に付けており、探究的な学習のよさを理解している。</p>	<p>①実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てている。（論理的思考力）</p> <p>②どのように調べたり実験をしたりしたらよいか、見通しを立てている。（楽観的思考力）</p> <p>③多様な情報を収集し、必要な情報を取捨選択したり、実験方法を吟味したりしている。（批判的思考力）</p> <p>④集めた情報について、論理的に整理・分析をしたり、自分の仮説が根拠に基づいたものになっているか考えたりしている。（論理的思考力）</p> <p>⑤課題の解決方法について、探究の過程を根拠に自分の考えをもったり、新たな考えを生み出したりしている。（発想力）</p> <p>⑥相手意識をもったプレゼンテーションをしている。（論理的思考力）</p>	<p>①自分が設定した探究課題について、見通しをもち、粘り強く調べたり実験をしたりするなどして、自己調整をしようとしている。（楽観的思考力）</p> <p>②探究課題に必要な情報や考えを、他者との対話から集めようとしている。（協働性）</p>

## 6 指導と評価の計画（全34時間）

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
PBLって何だろう (1)	・PBLの目的を知り、おおまかなゴールを知り、探究活動の見通しをもつ。				
探究するテーマを決めよう(3)	・自分の興味関心のあることについて、ウェビングマップ等を使って整理し、探究したいテーマを設定する。				
問いを立てよう(3)	・問いをたくさん書き出し、探究することに値する問いを取捨選択する。		①		・ウェビングマップ
	・自分や友達、家族や地域のためになるもので、自分が解決したい課題を決定する。		① ②		・ワークシート ・振り返りシート
仮説を立てよう(2)	・自分が解決したい課題の解決方法について、仮説を立てる。		① ②		・ワークシート ・発言
情報収集をしよう(5 +夏休みの個人活動)	・自分が立てた仮説に対して、どのような情報を集めたらよいか、検討をつける。 ・自分が立てた仮説に対して必要な情報を集める。	①	③	①	・ワークシート ・発言
収集した情報を整理・分析しよう(5)	・集めた情報を比較したり、分類したりして整理し、その結果をまとめる。	①	④		・ワークシート ・収集した情報 ・発言内容
仮説交流会で発表しよう(2)	・ここまでの取組を、スライドにまとめ発表する。 ・他者の発表を聴いてアドバイスを行ったり課題解決の参考にしたりする。			②	・スライド ・アドバイスシート
仮説を見直そう(5)	・論理的なつながりについて理解する。 ・仮説と根拠のつながりを吟味し、後期の活動計画を立てる。 <b>【本時 2/5】</b>	① ②	③ ④	②	・発言内容 ・記入用スライド
発表スライドを作成しよう(6)	・自分が伝えたいことを、相手意識をもってスライドを作成する。 ・聴く人の興味を引く発表の仕方を工夫する。		⑤ ⑥		・発言内容 ・スライド ・振り返りシート
発表しよう(1)	・自分が探究したことを、仲間や保護者の前で興味を引くように発表する。		⑥		・ワークシート ・スライド
自分たちの発表を振り返ろう(1)	・自分友達の発表のよさや改善点を交流し、来年度の探究に生かすことをピックアップする。	②	⑤	②	・振り返りシート

## 7 単元におけるルーブリック

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
論理的 思考力	現状から原因を見つけ、解決方法を考え、伝えている。	課題の解決方法について、データや体験など根拠をもとに、自分の考えを説明している。	課題の解決方法について、データや体験など根拠をもとに、自分の考えを分かりやすい言葉や方法で説明している。	課題の解決方法について、多様な視点からアプローチするなどして、説得力ある説明をしている。
批判的 思考力	自分や他者の考えを比較しながら聴いている。	多様な考えを関連付けたら比較したりして考え、自分の意見をもっている。	集めた情報や他者の考えを、妥当性と真偽性の側面から検討をしている。	
楽観的 思考力	自分で決めたことに粘り強く挑戦しようとする。	失敗をもとにどうしたらよいか考え、積極的に学びを繰り返すなどして、粘り強く挑戦しようとしている。	成功までのプロセスをイメージし、修正すべきことを整理し、やってみようとして粘り強く挑戦しようとしている。	

## 8 本時の学習

### (1) 本時の目標

仮説と根拠のつながりを吟味し、後期の活動計画を立てる。

### (2) 観点別評価規準

①どのように調べたり実験をしたりしたらよいか、見通しを立てている。【楽観的思考力】

②探究課題に必要な情報や考えを、他者との対話から集めようとしている。【協働性】

### (3) 指導者が本時に意識した「美土里中学校授業の3本柱」の工夫点

#### <課題提示の工夫>

中間発表会の内容を活用して、後期の自分の活動を発表することで具体化していくという課題を示すことで、活動への目的意識を持たせ、次の探究に繋げる。

#### <グループ学習の効果的設定>

後期の活動への具体的な展望をもって友達に自分の学習計画を説明したり、アドバイスをもらったりするというグループ学習を設定し、より効果的に活動の流れをイメージできるようにする。

#### <意図的指名の徹底>

発表生徒の工夫されている点（仮説と活動内容の繋がりが明確で論理的、実験対象が多岐に渡っていて説得力がある、取材した情報を上手に取捨選択している、等）を、意図をもって紹介し、他の生徒に波及させる。

(4) 学習の展開

この授業で目指す「生徒がクリエイティブに思考し表現している姿」		
<p>①自分の後期の活動で、どのように活動したらよいか、具体的に見通しを立てている</p> <p>②自分の後期の活動に必要な情報や考えを、他者との対話から集めようとしている</p>		
学 習 活 動 ・予想される生徒の反応	○指導上の留意点 ◆配慮を要する生徒への支援	◇評価規準（評価方法） ●目指す生徒の姿
1 本時の課題をつかむ。		
【学習課題】 後期の活動計画を発表し、仮説と根拠のつながりを確認し合おう		
2 視点を確認する。	○スライドの使い方（文字の大きさや色遣いなど）や声の大きさのみではなく、視点を左記に絞ることを確認する。	
<p style="text-align: center;">＜仮説と根拠のつながり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説を説得力のあるものにするための根拠を集められる活動になっているか？</li> </ul>		
3 各グループに分かれて、後期の活動の流れを説明し、質問し合う。	○発表生徒の工夫されている点を、全体に紹介し、波及させる。	<p>①自分の仮説が何で、後期の活動計画がどのようになっているか、具体的に説明している。</p> <p>②自分の考えだけではなく、友人からの意見を柔軟に取り入れて活動を改善している。</p>
4 話し合った内容をワークシートにまとめ、後期の活動を開始する。	◆自分では仮説と活動計画の見直しが出来ない生徒には、指導者が生徒と対話し、見通しをもたせる。	◇仮説と根拠のつながりを吟味し、後期の活動計画を立てている。（行動観察・ワークシート）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説の見直しを行う。</li> <li>・活動計画の見直しを行う。</li> <li>・タブレットを使用して情報を集める。</li> <li>・発表用のスライドの作成を行う。</li> </ul>		
5 まとめを行い、次時の学習活動を認める。	○視点を意識して話し合っていた姿を紹介する。	